

●漢城 (hansung) 大学校

今回私が留学したのは漢城大学校という、韓国ソウルにある大学校でした。期間は17日間で、その17日間にはチュソクという、韓国のお盆みたいな休日をはさんでいました。私は、以前から韓国の文化や食べ物、慣習に興味があり、この、17日間で集中して学んで来ようと、留学を決めました。しかし、初めての海外、初めての留学ということもあり、大変緊張しました。国際空港である仁川空港へは、新千歳空港から2～3時間で着き、空港へはキム先生と、ウンジンさんという学生さんが迎えに来てくれました。

今回の留学では迎えに来てくれた学生のウンジンさんと、同じく学生であるチャンヒョンさんという方がチューターさんとして、私たちにソウルの町を案内してくれました。



↑漢城大学校

学校の敷地は、私の通う教育大函館の何倍もの大きさで、とっても広がりました。綺麗な学校でした。



↑学校前の坂

●教室での授業（授業1）

学校の教室でする授業は土井先生という日本人の先生がわたしたちプログラム参加者に、ハングル文字の作りや読み方から教えてくださいました。わたしは前期でハングルを選択していたので、ハングル自体は初めてではなかったのですが、一人ずつ発音していく練習がとても緊張しました。それから、韓国の政治や文化、慣習などについての講義もあり、日本との比較をすることによって、より理解が深まりました。



↑授業風景



↑教室

●野外活動（授業2）

今回のプログラムは、教室で学習する時間よりも直接見学へ行く時間が多く、博物館や、展示館、ソウルタワー、ハンガンのクルーズ、宮殿など様々な場所へ行きました。また、韓国の伝統芸を交えた公演 NANTAや、LOTTE WORLDというテーマパーク、野球場へ野球を見に行ったりなど、韓国にある娯楽なども経験しました。わたしが野外授業で一番印象に残っているのがDMZという場所です。DMZとは韓国と北朝鮮との軍事境界線を挟んで南北2キロメートルにわたって設定されている非武装地帯（demilitarized zone）です。そこをバスで通り、北朝鮮が韓国へ侵入するために掘ったとされているトンネルの一つである、第三トンネルというトンネルへ行き、北朝鮮側を覗いて来ました。それからまたバスへ乗りトラ展望台という所へ行き、肉眼でも38度線を見ることができました。戦争のために掘られたトンネルを見たり、北朝鮮との境界を見たりすることで、こんなに近くにある韓国が、未だ戦時下にあることを身をもって体感しました。



↑DMZのツアーにて



↑ソウルタワー



↑昌徳宮

●寮について

外国人の先生のゲストハウスとして使われている寮で生活しました。寮は二人部屋で、私は同じ学校の4年目の先輩と同室になりました。部屋には二段ベッドやクローゼットがあり、収納スペースもたくさんありました。またガスや水道も使えたり、クーラーや、オ



↑二段ベッド

ンドルと呼ばれる床暖もついていました。勉強するための机がなかったことだけが残念でしたが、台所を机にしてベッドの階段を椅子にすることで十分代用できたので、とても過ごしやすかったです。



↑台所

●文化

ソウルはとても芸術活動が盛んな地域というはなしがあるように、町の中のおブジェなどがとてもオシャレでした。また、観光用の場所だけでなく市場がたくさんあり、新鮮な果物屋さんや、スムージーやトッポギやチヂミ、ウインナーを売るお店、iPhoneのケースを売るお店など、さまざま市場がありました。しかも、それらの商品は円高の影響もあり、とっても安かったです。



↑市場

日本と違いを感じた点は、韓国では老若男女問わず、道路に唾を吐くことが多かったこと、ゴミをポイ捨てる人が多いため、町にいっぱいゴミが落ちていました。授業で土井先生に尋ねたところ、ゴミは外では捨てるけれども、韓国人は自分の家はとっても綺麗にしているそうです。その意識の及ぶ範囲をもう少し広げることで、よりよい街づくりが出来るのではないかと思います。それから、食べ物の点でも大きく違いがありました。まず、だいたいのもの味の付けが、辛かったです。次に、食堂行ったら、必ずキムチやカクテキが無料で出てくるのに驚きました。料理の量が多く、多すぎる程の料理でお客をもて



なすのが文化である、ということも学びました。ですから、料理を残しても失礼には値しないのです。

←町にあったオブジェ

プデチゲ→



●次回このプログラムへ参加する方へ。

今回の日本人向けの短期研修プログラムは、教育大学のほかに、山口福祉大学の学生も一緒に受けました。日本人の大人数の短期研修は漢城大学にとっても初めての試みだったらしく、私たちの担当をしてくれていた金先生も、大変そうでした。ですが私たちのことをとても考えてくれていて、普通の旅行では絶対に行く事のできない大学の芸術の先生のアトリエの見学なども野外授業に組み込んでくださったり、韓国で人気のあるところや、有名なところへもたくさん連れて行って下さったりしました。また、今回のプログラムでは休みの日も多く、自分の行きたい所へ行く時間もたくさんありました。韓国へ来る前に、自分がここだけは見ておきたい！と思うところを出来るだけいっぱい作っておいて下さい。また、行く前に目標をしっかり持つことも大切だと思いました。例えば毎日10個単語を覚えるなどでも十分だと思います。せっかく現地に行くんだからいっぱい吸収しなきゃ損だと思います。本当に楽しいので、楽しかった、だけで終わらない様に今後役に立つ意味のある留学になるといいと思います。



↑最後の夜に。